

2023年2月14日

クラレトレーディング株式会社

2022年12月期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
 代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司
 問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 尾古 雅章
 : (TEL) (06) 7635-1624

1. 当期の連結業績 (2022年1月1日～2022年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

	当 期 (2022年1月～2022年12月)		前 期 (2021年1月～2021年12月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
	取 扱 高	143,830	-	144,027	-	△197
売 上 収 益	58,844	-	(54,111)	-	(+4,733)	+8.7%
営 業 利 益	5,114	3.6%	4,852	3.4%	+261	+5.4%
経 常 利 益	5,211	3.6%	4,961	3.4%	+250	+5.0%
当期純利益	3,658	2.5%	3,400	2.4%	+258	+7.6%

(注) 2022年12月期より当社の100%出資現地法人であるクラレトレーディングベトナムを連結対象に加えており、当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司、クラレトレーディングベトナムの2社となっています。(前年の連結経営成績には、クラレトレーディングベトナムを含んでいません)

(2) 単体経営成績

	当 期 (2022年1月～2022年12月)		前 期 (2021年1月～2021年12月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高	136,195	-	141,226	-	△5,031	△3.6%
売 上 収 益	41,731	-	(38,501)	-	(+3,229)	+8.4%
営 業 利 益	4,211	3.1%	4,008	2.8%	+202	+5.1%
経 常 利 益	4,545	3.3%	4,273	3.0%	+271	+6.4%
当期純利益	3,234	2.4%	2,930	2.1%	+303	+10.4%

※当社は、2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

当該基準適用前(旧基準)での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

前期累計期間における「売上収益」(括弧書き)は、当該基準を適用した場合の金額を参考値として表示しています。

2. 当期の連結経営成績の概況

当社は、当連結会計年度（2022年1月1日～2022年12月31日）からスタートしました中期経営計画「PASSION 2026」の主要戦略である「アジアでの更なる業容拡大」「繊維を中心とする独自ビジネスの収益強化」に基づき、その施策を積極的に推進しております。

その主要戦略の下当連結会計年度は、繊維関連におきましてはウェアラブル等のスポーツ衣料を中心に販売を拡大しましたが、化学品・化成品において前半はアジア市場で順調に推移したものの、後半は景気減速の影響を受けました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は143,830百万円（前年同期比197百万円減、0.1%の減収）、売上収益は58,844百万円（同4,733百万円増、8.7%の増収）、営業利益は5,114百万円（同261百万円増、5.4%の増益）、経常利益は5,211百万円（同250百万円増、5.0%の増益）、当期純利益は3,658百万円（同258百万円増、7.6%の増益）となりました。

セグメント別の状況は以下の通りです。

以下< >の中の名称は(株)クラレの商標です。

(1) 営業の概況

【繊維関連】（増収増益）

取扱高は45,570百万円（前期比4,206百万円増、10.2%の増収）、営業利益は2,157百万円（同451百万円増、26.5%の増益）となりました。

(衣料分野)

- 製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- ユニフォーム用途は、サービス向けは堅調もワーキング向けが苦戦し、取扱高は前年並みも減益となりました。
- 原糸販売および一般衣料向け生地販売は、不採算分野からの撤退により収益を改善しました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

(資材分野)

- メディカル用途は原料コストアップにより収益が悪化しましたが、その他の資材関連は堅調に推移しました。
- 人工皮革<クラリーノ>は、スポーツ靴・手袋用が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、資材分野は増収増益となりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】 (減収減益)

取扱高は 98,260 百万円（前期比 4,405 百万円減、4.3%の減収）、営業利益は 2,957 百万円（前期比 189 百万円減、6.0%の減益）となりました。

- 前半はアジア市場を中心に順調に推移したものの、後半は景気減速の影響を受けました。

(2) 2023 年 12 月期の連結業績予想(2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日)

中期経営計画「PASSION 2026」の主要戦略である「アジアでの更なる業容拡大」「繊維を中心とする独自ビジネスの収益強化」を進め、収益の拡大に引き続き注力してまいります。

2023 年 12 月期の連結業績予想につきましては、以下の通りとなります。

(億円)

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期 (累計)	730	300	24	24	16
通 期	1,530	630	52	52	35

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上